



わが家のアイドル

須崎にお住まいの
花房 雄次さん・直美さんの

- 長男 **瞬** 星くん(7歳)
- 次男 **皓** 星くん(5歳)
- 三男 **彩** 星くん(3歳)

三兄弟の得意技は、虫捕り、ハゼ捕り、スジエビ捕り！
でも一番得意なのは お菓子の取り合い！

みなさんのお宅のアイドルの写真を募集しております。市役所総務課へどしどしお寄せください。



下田市はあいさつ運動実践中 「こんにちは」元氣なあいさつ、ひろげよう



下田の大地を巡る旅

「伊豆半島ジオパーク」

Vol.7

「寝姿山」と「下田富士」

伊豆急下田駅や稲生沢川を挟んで、東西にそびえる2つの山、「寝姿山」と「下田富士」は、下田の皆さんにとって、もっとも身近にある山の代表といっても良いかもしれません。昔から多くの人に親しまれ、興味深いエピソードや逸話も多く残されています。

寝姿山は、南に位置する「万蔵山」を頭にして、そこから北に向かつて続く山並みが、女性が仰向けで寝ている姿に似ていることから付けられた呼び名です。自然公園に指定されており、桜やつわぶぎ等、四季折々に様々な花を楽しむことができます。山頂からは伊豆七島も一望でき、ロープ

ウェイを利用して、景観や自然を気軽に楽しんでもらえることも魅力のひとつです。

もうひとつの山・下田富士は、標高191m、全国の「富士」と呼ばれる山々のなかで、一番低い山であるとも言われており、下田富士と富士山(駿河富士)、そして八丈島の八丈富士が三姉妹であったという民話も残されています。

もう一つ、下田富士にある興味深いエピソードは、今も山頂で見ることのできる一つの立看板です。この看板には、大正時代まで山頂にあった大木に英語の刻印があったこと、その刻印の西暦が1854年であったことが記されています。1854年、この年はペリー黒船艦隊が下田に来航した年にあたります。

「火山の根」

これまでの連載でもご紹介してきたとおり、伊豆の各地では、かつての海底火山の証拠となる火山噴出物を見つけることができます。それでは

これらを噴出した火山の火口はどこにあるのか？残念ながら火口は浸食によって失われてしまっています。ところが、この浸食が進むことで、かつて火口の地下にあった「マグマの通り道」が、地上に姿を現しています。「寝姿山」と「下田富士」は、まさしくこの「マグマの通り道」にあたり、別名「火山の根」ともいわれています。火山の根は、海底火山の直下で冷え固まったマグマが、後の浸食により、鉛筆の芯のように洗い出されたものなのです。

「寝姿山」と「下田富士」、この2つの山は数百万年前、海底火山の中心部に位置しており、その噴火により、下田周辺の大地が形造られていったのです。



問合せ先
観光交流課観光戦略係

☎ 23913



「広報しもだ」は再生紙を使用しています

伊豆縦貫自動車道を早期完成しよう!!

「伊豆縦貫自動車道ロゴマーク」を利用して、伊豆縦貫自動車道の整備促進と活性化を県内外にPRしましょう!! ご利用方法については、以下の市ホームページをご覧ください。

■ 下田市ホームページ <http://www.city.shimoda.shizuoka.jp/>



いいずらいず
伊豆縦貫自動車道早期完成